

製品名: フコキナーゼウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11181**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	FUK
別名	FUK; L-fucose kinase; Fucokinase
遺伝子 ID	197258.0
SwissProt ID	Q8N0W3
免疫原	抗血清はヒト FUK 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 11-60

背景

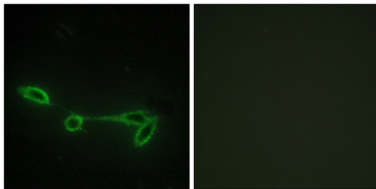
フコキナーゼ(FUK) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、GHMP (ガラクト-、ホモセリン-、メバロン酸-、ホスホメバロン酸) キナーゼファミリーに属し、L-フコースのリン酸化を触媒してβ-L-フコース 1-リン酸を生成します。この酵

素は、糖タンパク質および糖脂質の合成における遊離 L-フコースの利用の第一段階を触媒します。L-フコースは、血液型抗原認識、炎症、転移など、多くの細胞間相互作用の媒介に重要であると考えられます。この遺伝子には複数の転写バリエーションが存在する可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性:ATP + L-フコース = ADP + β -L-フコース 1-リン酸。機能:オリゴ糖の分解からフコースを再利用するためのサルベージ経路に関与する。類似性:GHMP キナーゼファミリーに属する。

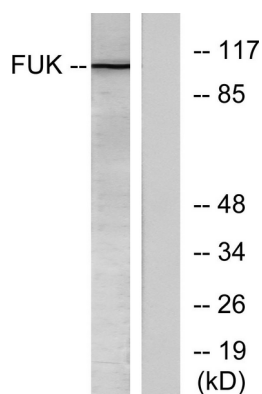
研究分野

フルクトースおよびマンノース代謝;アミノ糖およびヌクレオチド糖代謝;

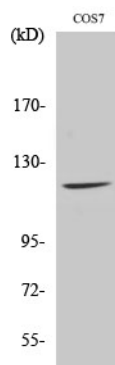
画像データ



FUK 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



インスリン 0.01U/ml を 45°C で処理した COS7 細胞のライセートの FUK 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



フコキナーゼポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析